



善正寺だより

掲示板法話

毎日が生まれて初めて

こんな有難いことはない

明けましておめでとうございます。昨年「アベノミックス」の成果でしょうか、全般的に明るさが見えた年だったと言われます。だが、見方は様々で、「元旦や冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし」(一休)という古歌に共感する人もいます。

「冥土の旅」という見方は、「お浄土の旅こそが迷いの人生からの解放である」と教えられる浄土真宗の立場から外れますが、我々は娑婆世界の住人です。「ままならない」という苦しみを抱いて生きる身です。「めでたくもあり、めでたくもなし」が正直なところですね。

「めでたい」という言葉は「目出度い」とか「芽出度い」とか書く場合があります。ありますが、それらは皆当て字で、「愛め」である。「甚し」を合わせた「愛で甚し」が「愛でたし」に転じたので、賞賛する以外にないほど素晴らしい、という意味です。だから、「今年はあるなりた、こうなりた」という祈願



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:0593-31-1670
☎:0593-32-0733

の意味は本来なかったのです。ということは「めでたく新年を迎えられたこととそれ自体、尊く有難いことです」と受け止めるべきなのです。

福井県の大先輩、円和寺前坊守さんの伝道葉書に「丸岡のさだまさし」(美声のギター)説法をなさるご住職)なるお方の言葉が紹介されています。

生きていく限り
毎日が生まれて初めて
君も僕もすべてが新しい出逢い
季節を見送りながら
年老いていくことを嘆くよりも
毎日が生まれて初めて
そんな生き方がいい

仏さまの教えに導かれた、素晴らしい人生観ではないでしょうか。ひと時、ひと時、不思議の恵みを頂いて無量寿(限りなきいのち)、無量光(限りなき智慧の光)に包まれて生かされているのちである。だから、真新しい気持ちで自己に与えられた立場で精一杯力を尽くして生きよう。日々出逢う縁深き人々は皆、同じみ光の中の同朋、仲間である。

☆行事ご案内☆

『元旦会』&『お朝事』

元旦会；1月1日 朝9時

お朝事；1月13日～16日 朝7時

本堂修復中に付き、いずれも庫裏仏間で、正信偈をお勤めします。ご家族お揃いでお参り下さい。

※除夜の鐘 12月31日午後11時45分より

◇キッズサンガ

毎夕5時の鐘つき、年中無休。1月はお経の練習お休みです。

◇除夜の鐘 12月31日夜11時45分より誰でも撞けます

◇元旦会 1月1日9時より 庫裏仏間、正信偈、お年玉付き

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。

開設5年5か月で12万9千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話
15冊目の新刊本『お念仏申してごらん』発行 800円

※三重組コーラス練習1/20(月)午後1時半、西勝寺様

※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日に決定!

※来年4月19日午後「初参式」を受ける赤ちゃん、幼児を大募集
千円、写真、数珠、記念誌授与。奮ってご参加下さい!

※本堂内陣天井修復中に付き、来年3月初めまで使えません



お内仏報恩講の手作り料理



初参式での記念撮影



大勢お参りのお内仏報恩講

冥土の旅に迷っている私たちが浄土の旅に大転換されれば、こんなおらかな、頼もしい人生に成るのです。拝み合い、支え合いながら生かされて参りましょう。

写真アラカルト

坊守スケッチ

良い習慣と環境が人を育てる

一歳九か月になる孫が、年末のお内仏報恩講が過ぎてから、少し変わってきました。その時お勤めした『音楽法要』がとても気に入り、その後も得意になって歌います。♪なーも あみだー、なも あーみーだーぶーちゅー♪

ただただし言葉ですが、大人の口元をじっと見つめて、音程も合わせて歌います。庫裏の四間にぎっしり集まった門徒さん達の数と、歌声に感激し印象に残ったのでしょうか？それまでは毎日仏間でお参りをしていたのですが、じっと座っていることができませんでした。お内仏の報恩講以来「それは恥ずかしいことなのだ」という自覚が芽生えたのでしょうか？

「あの時のCDをかけて」とせがんで一緒に歌います。今では♪にようーらい だいひの おんどくはー♪と『恩徳讃』まで覚えてしまいました。まだオムツも取れていない年頃なのに、お経の意味も知らないのに、幼子の吸収力は驚くばかりです。近頃では来客があると、頭をぺこりと下げて「こんにちは」。そして「どうぞ、どうぞ」「まあ、あがって」「すわって」と、大人顔負けのおもてなし。お客様の顔も思わずほころびます。若い母親一人に子育ての責任を負わせていたらこうはいきません。沢山の大人に囲まれ、周囲の環境が孫を寺の後継

者として育てて下さるのでしよう。

幼児虐待の悲しい事件が、連日マスコミの紙面を飾り、心が痛みます。親の愛情を十分に受けられない子供が、被害に遭い、虐待の連鎖として次の世代へも引き継がれます。成人してからもストーリーカーやDVなど、自己中心的な愛情や暴力となって、他人を傷つける事件を起こします。これを防止するには、親から幼児期に十分な愛情を注がれることが必要です。しかし現在は子育てよりも仕事優先。そうしなければ生活できない現実もありますが、若い両親に代わって子育てを担う祖父母や保母さんらの手助けが必要です。

「三つ子の魂百まで」と言いますが、幼い時に受けた愛情は土中にしっかりと根っこを張った樹、生き抜く力になります。また良い習慣はよい人生をもたらしてくれます。良い習慣とは、優しい言葉使い、明るい笑顔、ときばきと行動する態度、プラス思考、挨拶や返事等の基本的な生活習慣のことです。コミュニケーションが苦手ですが、苦勞している若者が多い昨今ですが、子供時代からゲーム機やパソコンに没頭して、会話する機会が少なかったことが原因。スマホで沢山の見えない相手とつながっているように思われがちですが、意外な落とし穴、ネットいじめも発生しています。目の前にい



る相手と、温かい心が通い合うような付き合いこそ大切にしたいものです。幼児期に恵まれた愛情は、その後の人生に大きく花開くことでしょう。

☆寄稿

四日市市 釈妙水

- ☆身の丈の 趣味楽しむ 秋日和
- ☆晩秋や 鶴に似た雲 空に飛ぶ
- ☆紅葉祭り 赤白提灯 客を呼ぶ
- ☆干大根 テラス並びし 二本ずつ
- ☆冬野菜 縮んで伸びて 鍋の中

Eさんのいいもの紹介

元門徒総代の伊崎栄一氏の今月おススメの句は、大阪・川久保睦さん作

☆一合を 仏と分ける 飯を炊く

※作者はおそらく独居老人。でも一合を仏様と分け合えるなんて幸せ！最近パン食で朝ご飯を炊く家が減少し、お仏飯のお供えも忘れがち。手を合やす習慣だけは忘れずに(坊守)

♪三重組コーラス♪

☆1月20日(月) 午後練習西勝寺様

ホットニュース

☆本堂屋根一部西面、内陣天井等の修復工事のために、来年3月初めまで本堂は使えません。『元旦会』や『お朝事』は、庫裏仏間で勤めます。しばらくの間ご不便をおかけしますが、ご了承下さい。

☆12/15 三重組連研終了者研修会参加者、佐藤和義氏、館賢二氏

【平成26年度善正寺主な年間行事】

- 1/1、朝9時『元旦会』庫裏仏間
- 1/13、16、朝7時『お朝事』
- 3/15(土) 16(日)『春季永代経』(尾崎裕正師・奈良)
- 4/19(土) 午後『初参式&降誕会』三全仏婦主催(加藤幸子師・白山町)
- 5/25(日) 午前『総会』、午後『公開法座』(貴島信行師・大阪)
- 8/23(土) 24(日)『秋季永代経』(加藤正人師・桑名)
- 11/2(日) 午後と夜・3(月) 午前と午後(仏婦主催)『報恩講』(大島信隆師・大阪岸和田)
- 11/23 午前秋勧進
- 12/6(土) 夜『お内仏報恩講』

※毎月の例会は、原則として第3日曜日の夜7時半より

☆来年(平成26年)4月19日(土) 午後初参式を受ける赤ちゃん、幼児を大募集!三全仏婦主催。会費千円。

☆カンパ有難う☆
渡辺定美様、山中つや子様、小川琢治様、豊住久美夫様、柴田美津代様、正親市子様、岡本朝子様。他匿名様深謝。

梅やみ申し上げます
★服部和子様(11月19日・86歳・浜ノ一色。合掌)

☆編集子より ☆

「善正寺だより」第二四一号をお届けします。◇寒さ厳しい新年ですが温かい言葉が乗り越える力を育む。本年もご指導、ご愛読下さい。合掌

善正寺だより 新年号(第24号)をお届けします。お手元に届くのは年末ですがご容赦下さい。こうして無事新年を迎えられる幸せを共に喜び合いたいものです。新しい年はどんな年にしたいですか？人それぞれに抱負がおりでありでしょう。そろそろ老いの身仕度、身の回りを整理して身軽になりたい方、でも子供達には迷惑をかけたくない方、後継者がいないから寝込んだらどうしよう心配な方、老後の不安が頭をよぎります。かつては若い夫婦と子供で満ち溢れた巨大新興住宅地も今では老人だけの寂しい住宅地と化し、地域役員の引き受け手もないという有り様。お寺も他人事ではなく高齢化で伝統行事が今までのように継続できるの心配しています。将来への不安はあらゆる所で老いも若きも同じこと。むしろ若い人の方が厳しい現実が持ち構えています。お金や仕事もないパートもいない。先の見透しもない等悩みは深刻です。親や先生は若者にお手本さえ見せられず彼らは何を頼りに生きていけばいいのでしょうか？そんな人の迷いや悩みの相談相手になりたいというのが私の願いです。20年以上毎月欠かさず発行してきた寺報と、5年5ヶ月毎日休まず投稿したブログ、私にできることは黙々と続けることだけ！今年も皆様のご愛読、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。私達も尚一層の精進を重ねます。

合掌

平成二十六年一月

善正寺坊守様